

1. 外部評価結果報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	2970600462
法人名	有限会社 祥寿会
事業所名	グループホームこもれび
所在地	奈良県桜井市河合220-1 (電話)0744-44-1888
評価機関名	特定非営利活動法人 なら高齢者・障害者権利擁護ネットワーク
所在地	奈良市内侍原町8番地 ソメカワビル202号
訪問調査日	平成21年1月28日

【情報提供票より】(21年 1月 18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 4 月 11 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 16 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	19.6 人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	7,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(250000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(1月 18日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	7 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 83 歳	最低 68 歳	最高 97 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	菊川内科医院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市の中心街の幹線道路から少し路地を入ったところにあるが、周りには田畑が残り四季の変化を楽しむことができる。近くの川の堤防には見事な桜並木もあり、散歩のコースとなっている。ホームは2階建ての2ユニットで、門構えは、普通の住宅のように見える。
センター方式のフェイスシートを活用し、利用者の生活歴や思いの把握に力を入れ、ケアプランに活かしている。また、認知症対応型デイサービスやショートステイにも対応し、事業所内にマッサージを受けられるリラクゼーション室を設け、利用者や職員、地域の人が利用している。職員全員が、明るく生き生きとした家庭的なホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の調査では、①家族等への報告②同業者との交流を通じた向上③災害対策④居心地よい共有空間づくりが取り組みを期待したい項目になっていた。②同業者との交流を通じた向上については、地域包括支援センターが中心となって、地域密着型サービス事業所の交流会をもち、共にサービスの向上に努めている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>ユニットのリーダーが中心になって、自己評価をまとめている。職員全体に、自己評価及び外部評価の理解が深まっていないように思われる。自己評価及び外部評価の結果を職員全員で検討し、具体的な改善に役立てて欲しい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域包括支援センター、区長、老人会会長、婦人会会長、民生委員、人権擁護委員、家族代表などが参加している。現況報告や事業報告と共にケーススタディを行ってサービスの向上に取り組んでいる。現在年2回の開催であるが、回数を増やしていく予定である。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>面会時に日ごろの暮らしぶりを報告すると共に、家族の思いを聞くようにしている。また、電話連絡時にも聞くようにしている。家族会を催し、食事をしながら交流している。さらに、内外の苦情受付窓口を重要事項説明書に記載している。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、神社や溝の清掃活動にも参加している。地域の秋祭りのときには、おみこしをホームの前で止めてもらい、一緒に写真撮影をするなど交流している。散歩のときには、地域の人と挨拶を交わしている。また、ホームの中にあるリラクゼーション室を地域の人にも開放している。</p>
重点項目④	

2. 外部評価結果報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念の中に、「地区及びその周辺の人々と交流し、心通じ合うあたたかい地域社会を実現します」とあり、地域との交流を大切にしている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所の理念には、3つの福祉理念と理念を実現するために定めた5つの項目がある。理念は、事務所に掲示すると共に、会議や日々の実践の中で、確認されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、清掃活動にも参加している。地域の秋祭りのときには、おみこしをホームの前で止めてもらい、一緒に写真撮影をするなど、交流している。ホームの中にあるリラクゼーション室を地域の人にも開放している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ユニットのリーダーが中心になって、自己評価をまとめている。職員全体に、自己評価及び外部評価の理解が深まっていないように思われる。	○	自己評価及び外部評価の結果を職員全員で検討し、具体的な改善に役立てて欲しい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括支援センター、区長、老人会長、婦人会長、民生委員、人権擁護委員、家族代表などが参加している。現況報告や事業報告と共にケーススタディを行ってサービスの向上に取り組んでいる。現在年2回の開催であるが、回数を増やしていく予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者とは、事業所の現況や取り組みを報告すると共に生活保護受給の利用者も受け入れているので、頻りに連絡を取り合って連携している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	主に、面会時に日ごろの暮らしぶりや健康状態を報告している。面会が少ない家族には、電話連絡をしている。クリスマス会など家族参加の催しを行っている。	○	できれば「ホーム便り」などを発行し、面会の少ない家族や地域に定期的に報告できる体制が望まれる。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に日ごろの暮らしぶりを報告すると共に、家族の思いを聴くようにしている。また、電話連絡時にも聴くようにしている。家族会を催し、食事をしながら交流している。さらに、内外の苦情受付窓口を重要事項説明書に記載している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在は離職者が少なく、落ち着いている。職員はユニットを固定し、じっくり関わって馴染みの関係になれるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県主催の研修会を順番に受けている。他の講演会や研修会にも参加し、事業所から費用を補助している。ホーム内でも、新人研修や職員研修を実施し、尊厳のある介護を目指している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターが呼びかけ、2ヶ月に1回、地域密着型サービスの事業所が集まって交流会を行い、地域全体のサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が事前に家庭訪問し、住まいの様子を見ると共に本人や家族の思いを聴くようしている。入居直後は、職員が付きっ切りになって本人の不安を和らげ、関係づくりができるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	掃除や洗濯物の片付け、調理を手伝ったりと職員と共に楽しみながら行っている。元学校の先生にピアノを弾いてもらってみんなで歌を歌ったり、職員が知らない昔の生活の様子を教えてもらったりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家庭訪問や面接時に、利用者の生活歴や現在のできること・できないこと・したいこと、趣味や好みなど東京センター方式のアセスメントシートに記録し、意向の把握に努めている。さらに、日々の生活においても会話の中で、意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	アセスメントシートを用い、本人の生活歴や意向を把握し、本人のやりたいこと楽しみごとを中心に職員で話し合っって介護計画を立てている。職員全員が取り組めるような具体的な計画になっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的に半年に1回見直しを行っているが、2ヶ月に1回ケア会議を開いて評価を行い、変化があったり家族の要望がある時は随時行っている。見直しに際しては、職員間で話し合い、本人や家族にも了解を頂いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	認知症対応型デイサービスとショートステイにも対応可能になっている。また、リラクゼーション室を設け、地域の人にも利用していただいている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の往診が、月1回ある。また、精神科や皮膚科の医師の往診もある。職員の中に看護師がおり、事業所内のケアと共に通院などにも付き添っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	特に契約書には書いてないが、今までに3例のターミナル支援を行っている。家族から要望があれば、かかりつけ医などと相談しながら職員全員で対応している。できれば指針をつくり、文章化することが望まれる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	守秘義務や個人情報保護については、職員採用時に研修している。個人ファイルは事務所に保管している。プライバシーの保護については、入室時のノックやトイレ誘導時の声かけ等に気をつけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事の時間帯は、朝は起きてくる順番に、昼と夜は一緒の時間帯にしている。その他の一日のスケジュールは、本人の希望とペースに合わせてゆったり過ごせるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、栄養のバランスや利用者の好みを考え、職員によってつくられている。ホームに隣接する畑で作った新鮮な野菜も用いられる。食事の準備や片付けは、利用者と一緒にやっている。また、月一回の誕生日会や外食の日も利用者の楽しみごとになっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、日曜日を除く毎日入ることができる。なるべく本人の希望の時間帯で、ゆっくり入れるよう配慮している。夕食の前後にも入ることができる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や洗濯物の片付け、おしぼり巻きなど、できる範囲で行っている。趣味のピアノを弾いて歌を歌う人もいる。花見や秋祭り、外食などの楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望により、天気良ければ毎日、近くに川の堤防の桜並木の下を散歩をしている。車イスの人も出かけられるように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門扉には鍵をかけているが、玄関やテラスには鍵をかけておらず、自由に出入りでき、ホームのまわりを一周できる。外出希望がある時は、職員が付き添うようにしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害発生時対応マニュアルが作成されている。消火器や煙感知器も各所に設置されている。消防署と一緒に総合訓練は予定されているが、実施に至っていない。二階のユニットに、非常階段がないのが気かりである。	○	二階のユニットの避難誘導をどうするのかも含め、至急に消防署と共に避難訓練を実施することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によって、バランスよい献立が考えられている。一日の食事量や水分摂取量がわかるように、個人ファイルに記録されている。本人の希望や体調に合わせ、一日トータルで摂取できるように支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間には使いやすいテーブルやイスが設置され、テレビが見られるソファのコーナーもある。気軽に外気に触れられるように、ウッドデッキが設置されている。男性専用の便器の設置や使いやすいシャワーチェアの使用など、こだわりと工夫がなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた箆笥やイス、テレビや仏壇など、お気に入りの物を持ち込み、個性的で居心地良い空間をつくっている。		